

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第 6 回伊那弥生ヶ丘高校将来活用 WG			
開催日	2025 年 1 月 17 日(金)			
開催時間	開会	16 : 30	閉会	18 : 40
開催場所	それぞれ			
出席者				
協議会・WG メンバー	平賀裕子氏、山本風音氏、吉岡秀幸氏、大塚純氏			
事務局・職員	商工観光部：柴商工振興課長、林課長補佐			
関係者				
欠席者	須永理葉氏			
議事	1. キックオフイベント当日の流れについて 2. 今後のスケジュール			

議事項目	概要	次のステップ
1、プロジェクトの規模と現状について		
キックオフイベントのゴールイメージについて 参加者に話してほしいことは。	○WG メンバー ・令和8年3月までに市へのプレゼン資料を作っていくので、一緒につくっていきませんか。を伝える。 ・伊那市の「いきるとまなぶ」のアイデアをもらう。 ○WG メンバー ・自分たちで新しいものを作っていく「ワクワク感」を持っていてもらうこと。 ○WG メンバー ・関わることに半信半疑の人も「やってみよう。」という気持ちになってもらうこと。 ○WG メンバー ・弥生の会に参加した動機。思い。 ○WG メンバー ・「学び」についての新しい視点、発想。一般的な「学び」を超えるものを期待。 ・特定のトピックではなく、ランダムな思い。 ○WG メンバー ・施設利用のことだけだとつまらない。実現できないことの方が多いが、対話のプロセスを通じてプレゼンの材料を集めていきたい。 ○WG メンバー ・弥生は100年以上の歴史がある。あの場の将来を考えるうえで、その歴史や同窓会の思いを教えてもらって、共有することが大事。	

参加者に知ってほしいことは。	○WG メンバー ・プロジェクトの今後のスケジュール ・ゴールに向けて、勉強会や対話会の開催。	
その他	○WG メンバー ・当日は、人を知り、思いを知り、次につながるものにしたい。 ・どうやったら、全員が語り切れる場になるか。 ○WG メンバー ・当日は、WG の思いを伝えるキックオフでよいのでは。 ・自分たちのゴールは、来年3月のプレゼン資料完成だが、それに向けて参加者のプレゼン大会を開催するのはどうか。 ○WG メンバー ・インプットとアウトプットの場を設けていきたい。 ・プレゼン大会に向けて、どんなインプットをしていくのか。	
当日の流れ	進行：大塚純氏 1 これまでWGで行ってきたことの共有（20分） （1）プロジェクトの全容（柴） （2）WG 自己紹介 （3）ゴールとスケジュール（平賀） （4）弥生の施設の共有（須永） 2 個人ワーク（5分） （1）「何を話したくて、聞きたくて今日参加しましたか。」 をA4の紙に書いてもらう。名前も。 ※書いた内容でグルーピング（5つ）。 3 グルーピング（40分） （1）各グループで話しを聞きあおう。 ※自己紹介、「参加への思い」を話してもらう。 （2）最後に、各グループのまとめを各メンバーから発表 4 今後のアナウンス（5分）（平賀） （1）参加者のゴールとして、各人の思いのプレゼンの場を設ける。それに向けた勉強会を行っていく。	・マイク、スピーカー ・プロジェクター ・スクリーン ・PC ・ケーブル ・ドラムコード ・A4、A3用紙（人数分） ・サインペン ・各メンバーが各グループへ ・メモ用紙 ・プロジェクター

	5 個人ワーク（10分）付せんを書いてもらう （1）「今日は何を学び、感じましたか。今後何をしたいですか。」 （2）付せんを模造紙に貼る。 （3）全員で写真撮影 6 アンケート ※「ながの電子申請サービス」QRコード ※紙のアンケートも用意	・付せん ・サインペン ・模造紙 ・カメラ ・QRコード（10枚） ・紙アンケート ・サインペン
2、今後のスケジュール		
・次回の日程	・1月21日（火）18：00 いなっせ6F ホワイエ	キックオフイベント